

試験問題番号 33

骨盤骨折についての記載で誤りはどれか。

- 1 安定型骨盤骨折は致命傷となることはまれである。
- 2 不安定型骨盤骨折は後腹膜出血をともないやすく出血性ショックをきたす。
- 3 骨盤骨折の初療時の確定診断は骨盤前後像の単純写真で行う。
- 4 尿道損傷は男性に多く、尿道中枢部に多い。
- 5 部分不安定骨折や完全不安定骨折は創外固定の適応とはならない。

試験問題番号 34

広範囲挫減損傷の組み合わせで間違いを選べ。

- 1 compartment syndrome----- 5P sign
- 2 degloving injury----- roller injury
- 3 crush syndrome----- 尿崩症
- 4 compartment syndrome----- volkmann硬縮
- 5 reperfusion injury----- myoneuropathic metabolic syndrome(MNMS)

試験問題番号 35

トリアージについての文章で間違いはどれか。

- 1 複数患者の緊急度を評価する。
- 2 複数患者の重症度を評価する。
- 3 複数患者の搬送優先順位を決定する。
- 4 複数患者の治療優先順位を決定する。
- 5 トリアージが災害現場で行い、医療機関入り口では行わない。

○試験問題番号 36

トリアージについての文章で正しいはどれか。

- 1 緊急治療群は赤色でⅠである。
- 2 準緊急治療群は黄色でⅡである。
- 3 待機群は緑色でⅢである。
- 4 死亡群は黒色でⅣである。
- 5 上記のすべて正しい。

試験問題番号 37

外傷初期診療についての文章で間違いはどれか。

- 1 primary surveyでは蘇生の必要性を判断する目的で生理学的兆候を評価する。
- 2 secondary surveyでは治療を必要とする損傷を検索するために解剖学的評価をする。
- 3 primary surveyのBは Bleedingで出血部位を検索することである。
- 4 primary surveyのAは 気道の評価で開通の有無をみる。
- 5 secondaryは受傷機転などの情報の聴取と系統的な身体診察が含まれる。

試験問題番号 38

頭部外傷を受傷している患者に対して治療中である。二次性脳損傷の原因となるものはどれか。

- 1 低血圧
- 2 低酸素血症
- 3 発熱
- 4 貧血
- 5 1～4のすべて

試験問題番号 39

頭部外傷を受傷している開頭術後の小児の患者(図5)である。以下の文章で間違いはどれか。

- 1 頭蓋底骨折が疑われる。
- 2 両眼瞼の皮下血腫はバトル徴候と呼ばれる。
- 3 意識障害が疑われる。
- 4 高二酸化炭素血症や低酸素血症にならないように人工呼吸管理をする。
- 5 鼻や耳からの髄液漏出を診察する必要がある。

試験問題番号 40

頭部の解剖についての文章で間違いはどれか。

- 1 頭蓋骨は脳頭蓋と顔面頭蓋からなり、前者を頭蓋円蓋部と頭蓋底に区分される。
- 2 側頭骨は前頭骨に比べて薄い。
- 3 後頭蓋窩には小脳と脳幹が存在する。
- 4 言語中枢のある大脳半球を劣位半球という。
- 5 前頭葉は感情と運動を担当している。

試験問題番号 41

頭部の解剖についての文章で間違いはどれか。

- 1 頭頂葉は知覚と空間認識を担当している。
- 2 側頭葉は記憶を担当している。
- 3 上行網様体は脳幹にあり意識の覚醒をつかさどる。
- 4 視床や視床下部は中脳にある。
- 5 延髄は呼吸や循環を調節している。

試験問題番号 42

頭部外傷の患者が搬入された。secondary surveyで撮影したCT画像(図6)を参照して以下の文章で正しいものを選択せよ。

- a 急性硬膜外血腫である。
- b 急性硬膜下血腫である。
- c 呼吸パターンは正常である。
- d 瞳孔は正円同大で対光反射は両側迅速であった。
- e 受傷直後は意識が清明であったが次第に低下して昏睡になった。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

試験問題番号 43

I 度熱傷は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

- 1 ①
- 2 ②
- 3 ③
- 4 ④
- 5 ⑤

試験問題番号 44

II 度熱傷のsuperficial dermal burn SDB は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

- 1 ①
- 2 ②
- 3 ③
- 4 ④
- 5 ⑤

試験問題番号 45

II 度熱傷のdeep dermal burn DDB は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

- 1 ①
- 2 ②
- 3 ③
- 4 ④
- 5 ⑤

試験問題番号 46

III 度熱傷は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

- 1 ①
- 2 ②
- 3 ③
- 4 ④
- 5 ⑤

試験問題番号 47

熱湯の入ったポットがこぼれて受傷した患者が来院した。強い痛みを訴えている。図2のような右手であった。

正しいものを選択せよ。

- 1 I 度熱傷である。
- 2 II 度熱傷SDBである。
- 3 II 度熱傷DDBである。
- 4 III 度熱傷である。
- 5 いずれとも判別できない。

試験問題番号 48

ガス爆発により受傷した患者が来院した。図3のような左手であった。手背部の疼痛はほとんど感じられなかった。

正しいものを選択せよ。

- 1 I 度熱傷である。
- 2 II 度熱傷SDBである。
- 3 II 度熱傷DDBである。
- 4 III 度熱傷である。
- 5 いずれとも判別できない。